

事務事業名		審査事務費					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	会計管理者	担当課	会計課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	審査係		担当課長名	飯塚昭宏
	施策	2 持続可能な財政運営の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 歳入に見合った歳出構造への転換					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1091	一般	2	1	5	審査事務費					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	地方自治法 佐野市財務規則		市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
								任意的事業・義務的事業		義務的事業	
								実施方法		直営	
								事業分類		その他内部事務事業	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
各課の支出が予算や法令に照らして適正であるかどうか支出命令書等会計帳票を審査する。			・支出命令書や支出負担行為書、出張命令書等の帳票審査 ・伝票削減に向けての個別指導 ・会計処理マニュアル等を基に説明会を実施							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			審査した帳票枚数	枚	49,738	50,812	49,000			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
① 帳票 ② 各課			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			帳票枚数	枚	49,738	50,812	49,000			
			課数	課	60	68	67			
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
① 帳票の間違いを無くし、支払いが適正におこなわれるようにする。 ② 各課経理担当職員が帳票を正確に起票できるようにする。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			審査した帳票枚数	枚	49,738	50,812	49,000			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
健全財政が維持されている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			一般会計予算における財政調整的基金残高の標準財政規模に対する割合	%	-	16.1	10.0	10.0	10.0	
			一般会計市債残高の一般会計予算規模に対する割合	%	-	89.5	100.0	100.0	100.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	87	93	130					
	事業費計(A)	千円	87	93	130	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	87	消耗品費	93	消耗品費	130		
	人件費	人	3	3	3					
のべ業務時間	時間	5,927	5,973	5,900						
人件費計(B)	千円	23,062	23,540	23,252	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	23,149	23,633	23,382	0	0				

事務事業名	審査事務費	担当部	会計管理者	担当課	会計課	担当係	審査係
-------	-------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	地方自治法に定められた法定事務により自治体開始と同時
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	帳票の起票や支払いについては、手作業から財務会計システムによるパソコン管理へと変化。特別会計で新規の会計ができたことなどにより、審査枚数は増加した。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	通常の審査事務を行いながら、会計処理マニュアルを基に担当者説明会を2回実施した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	支払事務を適正かつ効率的に行うための事務であり、歳入に見合った歳出構造の転換に資するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	公金出納事務の適正確保を図るため、地方自治法の定められた法定事務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・帳票審査によって、支払が適正に行われる。 ・各課経理担当者の会計事務に対する理解を深め、能力の向上を図ることによって正確な帳票を起票することができ、公金支出を適正に遂行できる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	・会計処理マニュアルが作成できたことにより、各課の帳票作成に活用できる。 ・初任者への説明会を実施することにより、事務処理の向上が図れる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	人件費の削減余地がある	理由・改善案	事務遂行に必要な最低限の義務的経費のみなので、事業費の削減余地はないが、審査帳票枚数の削減や事務改善することにより、人件費の削減は可能である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	行政内部の事務事業であるため、受益者は特定されず負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	地方自治法に定められた法定事務であるため、休止や廃止することはできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①説明会の開催 ②各課への個別指導 ③帳票枚数の削減	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td>②③</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上	②③	①		維持			×	低下		×	×	会計処理マニュアルを各課が活用し、正確な帳票を起票することができるよう指導する。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上	②③	①																				
維持			×																			
低下		×	×																			